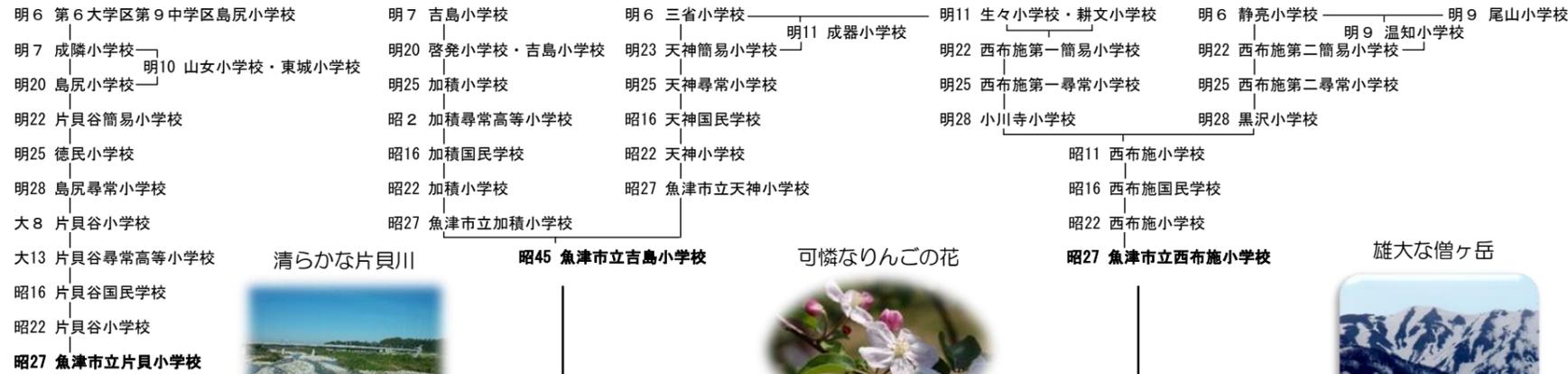


学校のあゆみ ~「魚津市史 下巻 近代のひかり」(昭47.3月発行)より抜粋~



平成28年4月 魚津市立清流小学校 開校

【校名について】 片貝・加積・天神・西布施の4つの地域が片貝川、布施川の流域にあり、子供たちに清らかに、たくましく育てほしい。地域を流れる川にちなみ、豊かでたゆまぬ力とともに、絶えることなく伸び行く子供たちを表現している。

【校章について】 清流小学校の頭文字「S」を図案化したものに、統合する三校の数を配して清流を表現し、丸の図形を加えて、豊かな自然に育まれてのびやかに成長していく子供たちの姿と、魚津市立の「う」の文字を兼ね備えた校章である。

- 平成28年7~8月 大規模改修工事
- 平成29年7~8月 冷暖房設備整備事業 (LED照明設置工事を含む)
- 平成29年11月 小学校教育課程研究会 県東部 特別活動部会 (初年度) 研究会 開催
- 平成30年2月 富山県学校保健会表彰 児童生徒保健委員会活動 優秀校
- 平成30年11月 小学校教育課程研究会 県東部 特別活動部会 (二年度) 研究会 開催
- 平成31年1月 富山県教育委員会表彰 総合の部門 努力校
- 平成31年2月 富山県学校保健会表彰 児童生徒保健委員会活動 優秀校
- 令和2年2月 富山県学校保健会表彰 児童生徒保健委員会活動 優秀校
- 令和4年2月 富山県学校保健会表彰 児童生徒保健委員会活動 優秀校
- 令和4年3月 第48回ショウワノートベルマークキャンペーン 小学校の部 1位
- 令和5年2月 富山県学校保健会表彰 児童生徒保健委員会活動 優秀校
- 令和5年3月 第49回ショウワノートベルマークキャンペーン 小学校の部 1位
- 令和6年2月 健康教育実践優良学校表彰 総合の部門 (いきいき富山っ子賞) 優良賞
- 令和6年4月 子供の読書活動優秀実践校

学校経営の概要

学校の教育目標 「かしこく」「正しく」「たくましく」生きる子供の育成

目指す学校の姿 「元気な声はずむ学校 明るく夢うつす学校 共に手を取り励む学校」

教育理念	かしこく (知)	正しく (徳)	たくましく (体)	魚津市ふるさとをキャリア教育の推進、自らを生きる方を考える
目指す子供の姿	①自ら課題をもって学ぶ子 (主体的) ②「人」「もの」「こと」と関わり合いながら学ぶ子 (対話的) ③多様な考えに触れ、自らの考えを深める子 (深い学び)	①自ら挨拶をする子 (社会性) ②相手の立場や気持ちを考えて行動する子 (思いやり) ③約束やきまりを守る子 (規範意識)	①自らの健康に関心を持ち、自ら体を鍛える元気な子 (健康) ②安全に気を付けて行動する子 (安全) ③目当てや目標をもち、粘り強く取り組む子 (自己伸長)	
理念を具現化する教育内容	①問題発見・解決能力の育成 ②主体的で対話的な学習活動の推進 ③思考力・判断力・表現力等の育成	①自他を尊重する態度の育成 ②社会性・協調性の育成 ③規範意識の醸成	①基本的な生活習慣の確立 体力づくりの推進 ②危険予知・判断力の育成 ③社会的自立や自己実現を図る場や評価の設定	
具体方策	① 課題意識を高める ・活動の見直し ・情報を収集・選択し、考えをもつ活動 ・活動の振り返り・学びの自覚 ② 学び合い ・体験的な活動 ③ 目的を明確にした書く活動 ・ICTの活用	① 挨拶運動 ・正しい言葉遣い ② 児童集会 ・学習グループの活用 ③ 集団登下校 ・自転車のヘルメットの着用 ・廊下歩行	① とやまゲンキッズ作戦 ・早寝、外遊びの奨励 ・みんなでチャレンジ 3015 ・楽しい運動遊びハンドブック ② いのちの教育 (健康・安全の指導) ・避難訓練 ③ 自己有用感や成就感、満足感を得る活動の工夫 ・キャリアパスポートの活用	

本年度の研修

学校の教育目標 「かしこく」「正しく」「たくましく」生きる子供の育成

研究主題 分かる・できる喜び、学ぶ楽しさを味わいながら主体的に学びをつくる子供の育成

視点1 問題 (課題) 意識を高めるための場や手立ての工夫	視点2 自己調整しながら学習を進めることができる学習過程の工夫	視点3 終末のまとめや学習成果の確認の場と評価の工夫
---	---	--------------------------------------

安心し、意欲をもって生活できるあったかクラス・学年・学校づくり

- 全校体制で取り組む環境づくり
- 自他の違いやよさを認め、互いに支え合う人間関係づくり
- 安心して過ごす中で、協力し、高め合うことができる学級づくり

【研修体制の充実】 ~子供の成長を切に願い、互いに学び合う教師集団を目指して~
「子供の姿に学ぶ」「一人一人を見つめ、育てる」

「OJT」に基づく協働研究 (日常の中で共に語り合い共に学ぶ)

【ワークショップ型研修】 ◇子供の姿に学ぶ研修 ◇互いの実践から語り合い、学び合う場の保障	【学校のユニバーサルデザイン】 ◇あったかクラスづくり ◇子供の思いや願いを理解する取組 ◇授業のユニバーサルデザイン ◇「いのちの教育」の充実	【授業改善に関する研修】 ◇ICT教育の推進 ◇視点を明確にした授業づくり ◇学び合う場の工夫 ◇終末の学習成果の確認の場の工夫
--	---	---

【子供の実際】
○互いに励まし合いながら活動できる子供が多い。
○目的がはっきりとしている場合は、意欲的に取り組むことができる。
●自分の考えはもってはいないもの、自信をもって伝えることができない子供がいる。
●根気強く問題を讀んだり筋道を立てて文を書いたりすることが苦手な傾向がある。



縦割り班活動



稲刈り体験 (5年)



立山登山 (6年)



りんごの収穫体験 (3年)



運動会



スキー学習会